

公募審査（採択）結果の公表

経済産業省資源エネルギー庁
資源・燃料部燃料供給基盤整備課

事業名：令和8年度「非化石エネルギー等導入促進対策費補助金（次世代燃料生産・利用技術開発等事業費のうち、合成燃料（e-fuel）等導入促進事業）」

（採択事業者）

事業者名	法人番号	提案価格
一般社団法人 エネルギー供給構造高度化事業コンソーシアム	5020005017165	1,625,000,000

（提案事業者名）

一般社団法人 エネルギー供給構造高度化事業コンソーシアム
ラニアケア合同会社

（審査委員属性）

大学教授
独立行政法人職員
民間法人職員

（採点結果）

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	平均
一般社団法人 エネルギー供給構造高度化事業コンソーシアム	78	59	76	71.0
事業者A	-	-	-	-

提案事業者名	提案書の記載内容	事業目的、実施内容	事業実施方法	事業実施計画	人員体制	事業従事者の能力	協力体制	財政基盤・管理体制	ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標	賃上げの実施表明	合計
一般社団法人 エネルギー供給構造高度化事業コンソーシアム	適	16	12	11.7	6.7	7.3	4.3	8.0	0	5	71
事業者A	不適	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（評価コメント）

提案事業者名	コメント
一般社団法人 エネルギー供給構造高度化事業コンソーシアム	<p>●事業の内容、実施方法及び実施計画に関しては、公募趣旨に沿った内容にて整合しており、適しているものと判断致します。事業の実施体制に関しては、人員、能力、経理面にて、問題ないものと判断致します。ただし、事務局人員に関しましては、間接補助事業者予定数が最大8件であり、公募～採択～交付決定～事業開始までの業務が集中した際の効率的な事務処理が求められると思料致しますので、その点の工夫・準備をお願いできればと思います。</p> <p>●一般社団法人化して進めていくとのことだが、実質的にはあまりこれまでの体制と変わらないように見える。</p> <p>●補助対象として、合成燃料（e-fuel）、バイオ燃料等の製造を行うための設備導入、既存設備の改造等の支援を通じて、技術実証支援を行う計画となっており、事業の目的である次世代燃料の製造、安定供給を確保していくための取組の推進に合致している。合成燃料（e-fuel）については、国内第2号目となる実証プラントの稼働、バイオ燃料についてはE10の先行導入実施など、具体的な目標が掲げられており、目的に対して有効な計画となっている。</p> <p>実施体制については、提案者であるコンソーシアムが一般社団法人化することで、従来よりも実施体制の強化が図られるものと予想する。申請者であるコンソーシアムは、次世代燃料の安定供給促進事業での類似事業の実績があり、本事業においても問題なく事業実施できると考える。また合成燃料の技術審査委員会は、エネルギー工学、触媒、燃料など本事業に関連する分野の著名な有識者で構成されており、政策面、技術面での適正な審査が期待されると考える。</p>
事業者A	<p>●適していないため審査対象外とした。</p>